

熊本県内バス電車無料化 社会実験と検証

九州産交バス(株) 今釜卓哉
 熊本大学大学院 先端科学研究部教授 溝上章志
 ヤフー(株) 大屋誠
 (株)トラフィックブレイン 太田恒平
 熊本市都市建設局 都市政策部 交通政策課 黒部宝生

はじめに

SAKURAMACHI Kumamoto
 2019年9月14日開業

県内8社1局4694便のバス/電車を無料に

SAKURAMACHI DATA Project発足



「データソリューション」
 「Yahoo! JAPAN」の100を超えるサービス、月額ログインユーザー約5,000万人などから生み出される多種多量のビッグデータを活用し、YAFUが企業や自治体向けに、事業の創出や成長支援、課題の解決等につなげる「気付き」を提供する事業向けサービス。
 ※利用データはすべて匿名化された状態で個人を特定できないレベルで提供いたします。

レポート(数値集計)

「県内バス・電車無料の日」
 九州産交グループ

分析協力 TrafficBrain
 検証支援 熊本大学 大学院先端科学研究部 溝上教授
 調査協力 熊本市 交通政策課/都市整備課観測/経済政策課

- バスターミナルリニューアルと同時期に開業
- 社運をかけた再開プロジェクト

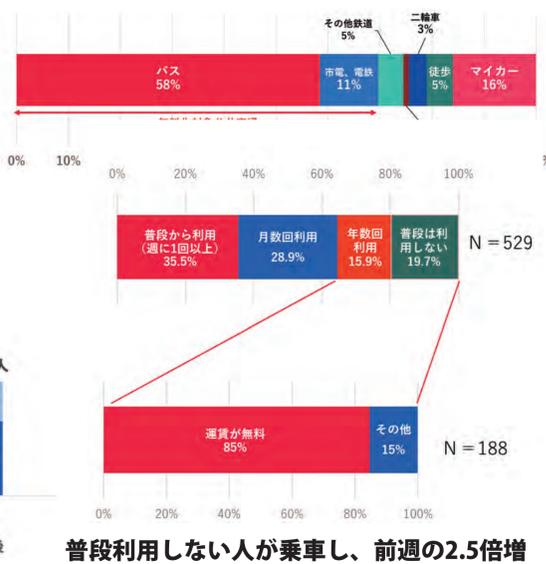
- 渋滞緩和のため公共交通利用を促進
- 限られた広告費で交通対策と盛上げを両立

- 地域内外の知恵とデータを集めた体制構築
- 公共交通無料化の地域活性化への効果を示す

分析結果

来場者数・交通手段

SAKURA MACHI Kumamoto
 14日来場者25万人!



経済効果

9/14日 SAKURA MACHI Kumamoto 来場者数(バス・マイカー利用を含む) 約25万名

9/14日 「中心市街地でいくら支出した/する予定か」 平均約5,000円

波及効率 約1.8

中心市街地と想定

中心市街地の経済波及効果 推計約11.4億円

9/14日 キャンペーン対象の公共交通利用割合 約70% (有効回答数724名)

キャンペーン対象の公共交通利用理由「無料だから」 約63% (有効回答数530名)

「熊本県内バス・電車無料の日」キャンペーンによる経済波及効果 推計約5.0億円

費用2500万円なので、効果は20倍! (クロスセクター効果)

環境効果

9/14日 中心市街地へ来場者数推定 約12.5万名

キャンペーン対象の公共交通利用割合 約70% (有効回答数724名)

無料利用者がマイカーに換る可能性 約40% (有効回答数526名)

乗用車平均輸送人員 約1.3人/台

マイカー増加可能性があった台数 推計約26,726台

熊本市自動車平均移動距離 約17.9km

乗用車の燃費 約12.2km/l

増加台数のガソリン使用量 推計約39,213L

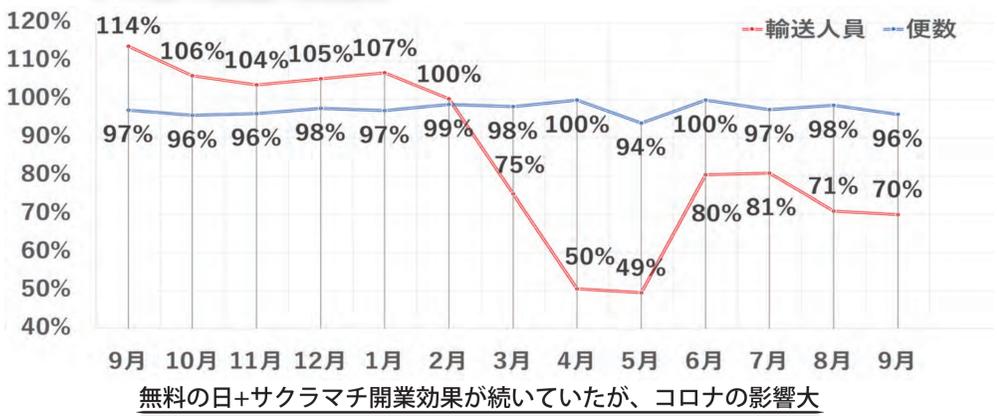
CO2排出原単位 約2.32kg/lCO2

「熊本県内バス・電車無料の日」キャンペーンによるCO2削減量 推計約91.0tCO2

スギの木1年間のCO2吸収量で換算すると 推計約6,498本分

車ではなく公共交通利用で環境にも寄与

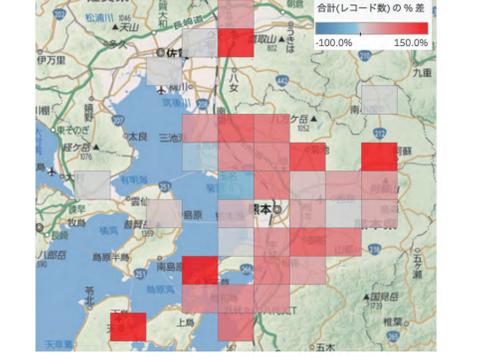
その後の輸送人員推移



中心市街地の回遊



県内観光地への来訪



渋滞緩和



得られた知見

- イベント×運賃無料化の地域活性化への効果**
 - 市街地・郊外両方の活性化、渋滞緩和、実施費用を大きく上回る経済効果が発現。
 - 今回はあくまでイベント時の効果なので、平常時の運賃のあり方は要検討。
- 公共交通利用のきっかけに**
 - 普段公共交通を利用しない人にも転換効果があり、公共交通利用のきっかけになる。
 - 長期的な継続効果は要観察。
- データ活用のノウハウ**
 - 地域内のデータと人流データを併用した方法は、全国にも展開が可能。
 - 人流データは取得率が数%のため、サンプル数に留意した集計が必要。

今後の展開

- 実施中** データ分析の情報交換
- コロナ禍による渋滞分析やICカードデータ分析等の日頃取り組んでいるデータ分析の共有
- 検討中** 第2回の実施へ
- 当初は秋ごろ実施予定だったが、コロナの影響で次期開催を調整中。次回は100円の日構想あり
- 検討中** MaaS / スマートシティ
- 熊本県内バス電車無料の日をきっかけに、交通以外の分野を超えた連携が増えており、今後のMaaSやスマートシティのきっかけづくりになっている。
- 来年はJCOMM熊本開催! 来てはいよー